

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課名	電話	発表者職氏名 (担当者職氏名)
10月2日（月）	危機管理室防災安全課	079-662-2899	課長 津崎 宏行 (主幹 釜谷 匡人)

令和5年度養父市総合防災訓練の実施について

令和5年度養父市総合防災訓練を下記のとおり実施します。

記

- 1 日 時 令和5年10月15日（日） 午前9時00分
- 2 会 場 つるぎが丘公園グラウンド
- 3 訓練想定 養父断層を震源とする震度6弱の地震が発生したと想定し、その影響で発生する様々な災害に対し、関係各機関が連携して各種対応訓練を行う。また、防災意識の啓発のため、防災に関するブース展示を行う。
- 4 訓練内容
 - 市内全域シェイクアウト訓練（AM9:00）
 - 現場訓練（AM9:05～10:15）
 - ① 指揮本部・対策本部運営訓練 ② 被害状況調査訓練 ③ 初期消火訓練
 - ④ 炊き出し訓練 ⑤ 道路啓開訓練 ⑥ 救急救助訓練 ⑦ 防災ヘリ救出訓練
 - ⑧ 多数傷病者対応訓練 ⑨ 災害時要支援者搬送訓練 ⑩ 消防団放水訓練
 - ブース展示（AM8:30～10:30）
 - 訓練終了式（AM10:15～10:30）
- 5 参加団体
 - 国土交通省豊岡河川国道事務所
 - 兵庫県養父土木事務所
 - 南但消防本部
 - 美方広域消防本部
 - 養父市社会福祉協議会
 - 関西電力送配電株式会社
 - 養父市建設業協会
 - 兵庫県自動車整備振興会但馬支部
 - 兵庫県警察南但馬警察署
 - 公立八鹿病院
 - 豊岡市消防本部
 - 養父市消防団
 - 西日本電信電話株式会社
 - 養父市防災協会
 - 養父市建築協会
 - 兵庫県LPガス協会但馬支部

- 養父市婦人防火クラブ
- 一般社団法人日本ドローン協会
- Qねっと関西
- やぶ防災会
- 全但バス株式会社
- 株式会社コメリ
- 総務省近畿総合通信局
- 兵庫県動物愛護センター但馬支所

6 問い合わせ 養父市危機管理室防災安全課
電話：079-662-2899

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月5日（木）	教育部こども学び課	079-664-1627 (2221)	課長 石田 恵美 (主幹 西垣 将輝)

養父小学校2年生 生活科学習「牛市見学」

養父市立養父小学校2年生が、生活科の学習で牛市見学を下記のとおり行います。

記

- 1 目的 養父の牛市は400年の歴史を持ち、近隣諸国における但馬牛市取引の拠点として名実ともにその地位を築いてきた。
2年生が生活科単元「もっと知りたいたんけんたい」の学習で、10月に開催される牛市、兵庫県畜産協賛会（審査会）を見学し、牛市の活気やそこで働く人々の様子を実際に見ることにより、但馬牛についての関心を深め、ふるさと養父市への愛着を深める。
- 2 日時 令和5年10月11日（水）午前9時30分～11時40分
令和5年10月26日（木）午前9時40分～11時40分
- 3 場所 JAたじま 但馬家畜市場 （養父市大薮1168）
- 4 内容 （8月下旬）牛市事前学習
養父市場 雑賀 学さんより牛市についてお話を聞く
（10月11日）但馬家畜市場見学
牛の様子について
せりの様子について （見学できる範囲で）
質問、感想など
（10月26日）兵庫県畜産共進会見学
牛の審査会の見学
- 5 問い合わせ先 養父小学校 教頭（中村） 電話：079-665-0300

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月5日（木）	市民生活部 人権・協働課	079-662-7601 （1270）	課長 高橋 純子 （人権推進員 小西 誠司）

第4回 人権学びステーションを開催

- 1 目的 養父市では、一人一人が人権に関する正しい理解や認識を深め、お互いの人権を尊重できる「共生社会」の実現をめざしています。
そのため、地域社会で人権文化の醸成を図り、さまざまな人権課題を学ぶ場としての「人権学びステーション」を開設し、そこで学び得た知識や技能を地域に発信しています。年間7回開催予定で、第4回の講座は以下のとおりです。
- 2 日時 令和5年10月21日（土）午後1時30分～午後3時30分
- 3 会場 子育て移住サポートセンター 多目的ホール（養父市八鹿町八鹿1694-1）
- 4 参加者 市民ほか
- 5 演題 「ハンセン病問題から学ぶこと」
- 6 講師 国立ハンセン病資料館 事業部社会啓発課
課長／学芸員 西浦 直子（にしうら なおこ）さん
- 7 内容 今回の講座では、国立ハンセン病資料館の西浦直子さんの講話を聞き、「ハンセン病問題」について以下のような視点について考えます。
（1）ハンセン病資料館と、その設置について経緯や意味について知る。
（2）日本におけるハンセン病問題を歴史的にたどり、ハンセン病に対する正しい理解と認識を学ぶ。
（3）患者や、その家族が受けた偏見や差別について知り、命や人権の大切さを再確認する。
（4）現在のハンセン病問題の現状を知るとともに、第二、第三の「ハンセン病問題」をつくらないため、私たちができることを考える。
- 8 参加料 無料
- 9 その他 ・定員40名（先着順）です。電話かFAXでお申し込みください。
・体調が優れない場合は参加を控えてください。
- 10 申込み・問合せ先 人権・協働課 電話 079-662-7601 FAX：079-662-7491

第4回人権学びステーション

ハンセン病問題から学ぶこと

約一世紀にわたって続いたハンセン病隔離政策は、その誤った認識から多くの人が苦しみ、多くの人々の人権が侵害されてきました。愛する家族と引き離された生活を余儀なくされ、本人はもとより家族への偏見や差別は今も続いています。

ハンセン病問題は、私たちに正しい知識と認識や理解の大切さ、そして命の尊さを問い続けます。こうした過ちを二度と繰り返さないためにも、まずはハンセン病問題と向き合い、私たち一人ひとりに何ができるのか一緒に考えましょう。

*** 講 師 国立ハンセン病資料館 事業部社会啓発課**

にし うら なお こ

課長／学芸員 西 浦 直 子 さん

〈プロフィール〉

新潟県長岡市生まれ。

2002年より高松宮記念ハンセン病資料館（現 国立ハンセン病資料館）学芸員として勤務する。ハンセン病問題に関する資料収集、展示制作等に携わり、ハンセン病患者、回復者の生活史、療養所における子どもと教育、青年たちの社会復帰などをめぐる企画展を担当してきた。

現在は社会啓発課長として、出張講座やイベントの企画などの教育普及事業を推進している。



*** と き** 令和5年10月21日（土）

午後1時30分～午後3時30分

**参加費
無 料**

*** と ころ** 子育て移住サポートセンター 多目的ホール

*** お 申 込 み** 定員40名(先着順)です。電話か FAX でお申し込みください。

【お申し込み・問合せ先】

◇人権・協働課……電話 079-662-7601 FAX 079-662-7491

主 催 人権学びステーション運営委員会・養父市・養父市人権教育推進協議会・
養父市男女共同参画センター

…………… キリトリ線 ……………

〈申込用紙〉

受付：10月2日（月）～10月19日（木）

名 前	住 所	電 話 番 号

※ ご記入いただいた個人情報は、研修目的以外には使用いたしません。